

みずほCustomer Desk Report 2017/05/19 号(As of 2017/05/18)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.07 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.07	1.1154	123.90	0.9794	1.2969	0.7431
SYD-NY High	111.74	1.1174	124.10	0.9824	1.3048	0.7468
SYD-NY Low	110.24	1.1075	122.57	0.9759	1.2888	0.7409
NY 5:00 PM	111.49	1.1102	123.80	0.9800	1.2942	0.7419
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.76/10.26		△25RR	2.030	Yen Call Over	
NY DOW	20,663.02	56.09	債券市場	日本2年債	-0.1520	0.2bp
NASDAQ	6,055.13	43.89		日本10年債	0.0470	0.1bp
S&P	2,365.72	8.69		米国2年債	1.2682	2.2bp
日経平均	19,553.86	▲261.02		米国5年債	1.7722	1.8bp
TOPIX	1,555.01	▲20.81		米国10年債	2.2294	0.5bp
シカゴ日経先物	19,610.00	▲150.00	為替市況	独10年債	0.3430	▲3.5bp
ロンドンFT	7,436.42	▲67.05		英10年債	1.0580	▲1.0bp
DAX	12,590.06	▲41.55		豪10年債	2.5000	▲2.9bp
ハンセン指数	25,136.52	▲157.11		USD/CNH	6.8831	0.0117
上海総合	3,090.14	▲14.30		ドルインデックス	97.88	0.30
USDJPY 3M Vol	9.67	0.45%	商品市況	CRB指数	182.507	▲0.74
USDJPY 6M Vol	9.73	0.26%		NY金	1,252.80	▲5.90
EURJPY 3M Vol	9.87	0.20%		WTI	49.35	0.28
EURJPY 6M Vol	10.11	0.11%		Dubai Spot	50.91	0.44

東京	ドル円はオセアニア時間に前日の流れを引き継いで安値110.53をつけたものの、その後は徐々に値を戻し111円台を回復。東京時間オープン前に発表された本邦第1四半期GDPは前期比年率+2.2%と予想(同+1.7%)を上回り、5四半期連続のプラス成長となったものの、ドル円相場への影響は限定的。斯かる状況下、東京時間のドル円は111.07レベルでオープン。前日比200円超安で寄り付いた日経平均株価が下り幅を拡大させる中、再び111.00を割り込んで110.80まで下落。但し、110円台という水準は先月4月下旬以来のことで、本邦輸入勢等によるドル買いも意識される中、一段と下落することはないと111.00を挟んでレンジ推移。発表された豪4月雇用統計の結果が予想を上回り、豪ドル円が上昇したことも相場をサポートした。午後に入っても同水準での値動きが継続していたが、引けにかけて米10年債利回りが2.24%台後半まで上昇する中、ドル円は111円台前半まで反発。結局ドル円は東京時間高値111.42をつけた後、111.39レベルで海外に渡った。(東京時間15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は111.39レベルでオープン。ロンドン時間序盤から米長期金利が再び低下し、欧州株も軟調となる中でクロス円を中心に上値が重い展開。トランプ米大統領が昨年の大統領選挙期間中にブーチ露大統領とつながりのある露政府関係者と少なくとも18回のコンタクトがあったとの報道や、ブラジルのテメル大統領による不祥事隠蔽疑惑報道もあって一段とリスク回避の動きが強まり、ドル円はオセアニア時間安値110.53を割り込んで下落し、安値110.24をつけた。その後は円売り戻しが入ったとみられ、110円台後半まで値を戻し、110.77レベルでNYへ渡った。ポンドドルは英4月小売売上の強い結果を受け1.29台半ばから1.30台前半まで上昇。朝方は1.2944レベルでオープンし、指標発表前からポンドドルは底堅く推移。英4月小売売上は主に天候要因を受け前月比+2.0%と市場コンセンサス同+1.0%を大きく上回り、前月値も全般的に上方修正されるという強い結果となり、ポンドドルは1.30台前半まで上昇し、1.3024レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外時間にドル円は安値110.24まで下落したが、110円を割り込めなかったことから反発し、110.77レベルでNYオープン。朝方発表された米・新規失業保険申請件数や米5月フィラデルフィア連銀景況が良好な結果となったことを受け、111円付近のストップを巻き込みながら111.33まで上昇。但し、この水準ではドル売り意欲も強く、110.80付近まで反落。その後、安寄りしたゲウがプラスに転じたことや、OPEC加盟・非加盟産油国会合を来週25日に控え、OPEC減産延長への期待感からWTI原油が3週間ぶりの高値まで上昇したこと、ドル円は反発。午後は、「コミー前FBI長官がトランプ大統領から調査を終了するように圧力がかかっていないことを誓った」との報道をきっかけに、一時本日高値111.74まで急伸。しかし、この発言は現時点のものではなく、5月3日の上院司法委員会での発言であることから、上値を追う動きとはならず、111円台半ばで小動きとなり、111.49レベルでクロスした。なお、東部時間昼頃にニューヨーク中心部のタイムスクエアに暴走車が歩行者に突っ込み、死傷者が複数出たものの警察から「テロとの関連を示すものはない」との見解が示されたこともあり、相場への影響は限定的となった。一方ユーロドルは1.1121レベルでNYオープン。ブラジルのテメル大統領による不祥事隠蔽疑惑報道を受けて対BRLでのドル買いやコミー前長官を巡るヘッドラインなどを受けドルが買い戻される動きを横目に、ユーロドルは1.1075まで下落し、1.1102レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月18日	08:50	日 GDP(前期比年率)・速報	1Q 2.2%	1.7%
	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	4月 37.4K/5.7%	5.0K/5.9%
	13:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	17:30	英 小売売上高(除く自動車燃料・前月比/前年比)	4月 2.0%/4.5%	1.0%/2.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 232K	240K
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	5月 38.8	18.5
	23:00	米 景気先行指数	4月 0.3%	0.4%
5月19日	02:00	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	02:15	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-

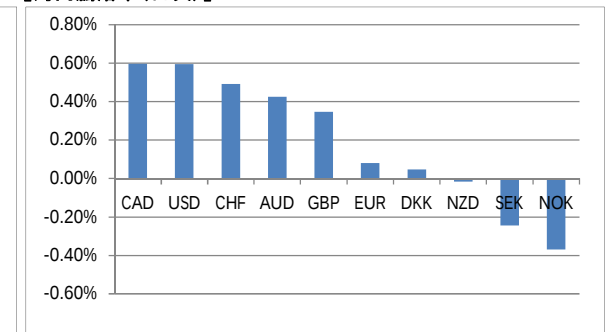
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月19日	22:15	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	23:00	欧 消費者信頼感・一次速報	5月 -3.0	-3.6
5月20日	02:40	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-112.00	1.1070-1.1190	122.50-124.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は下に往って来いの展開。ロシアゲート問題を巡る米トランプ大統領の弾劾懸念が意識される展開にドル売り地合いが続く中でドル円は一時110.24まで下落。その後、良好な米経済指標やコミー元FBI長官が疑惑捜査の中止を巡る政治圧力は無かったと証言している映像が伝わったことも相俟ってドル円は一時111.74まで上伸し、結局111円台半ばで本日を迎えている。本日のドル円相場は引き続き上値の重い展開を予想する。昨日のコミー氏による証言映像を受けて一時的にトランプ氏弾劾懸念は緩んでいるものの、同問題が解決した訳ではなく引き続き政治リスクは顕在。一時的なショートカバーの動きにドル円相場が反発している可能性も十分に考え得るところ。引き続きややリスク回避ムードが漂う中で、ドル円は上値重く推移するだろう。